

ななかま

NO.551 全日本建設交運一般労働組合秋田県本部機関紙
2022年6月6日発行 〒010-0976 秋田市八橋南1-2-29
TEL018-823-7748 fax018-823-7751
Email: kenkourouakita@bz03.plala.or.jp

県革新懇が講演会・総会を開催

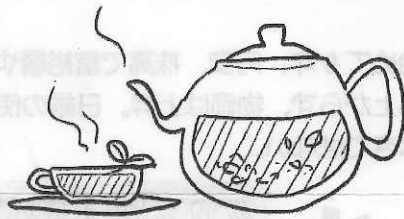
5月28日、建交労も加入する「平和・民主・革新の日本をめざす秋田県の会」(略称・秋田県革新懇)の講演会・総会が秋田市で行われました。エコノミストの浜矩子(はま のりこ)同志社大学大学院教授が「愛の讃歌としての経済に向かって～今こそ、弱いものいじめ政治からの脱却のとき」と題してきっちり1時間のオンライン講演を行いました。

岸田政権の「新しい資本主義」(アホダノミクス・命名は浜さん)の中身・本質について痛烈に批判。「アホノミクス(アベノミクス)」のパクリであるという意味と、「困ったときのアホ頼み」の2つを掛け合わせたのがアホダノミクス。浜さんは、弱いものいじめから脱却した、徹底した人本位の人権を礎(いしづえ)にした愛ある経済運営をもとめました。

総会は、革新懇運動の強化などの方針を採択しました。

秋田運送支部は5月11日に会社と協定書を結びました。

内容は、「歩合制・日給月給制組合員(満60歳以上の者は除く)の基本給・月額3000円の賃上げ」等



ことばのミニ事典・・・内部留保課税

企業の利益から株主配当や役員賞与などを差し引いた残りの「内部留保」が膨らんでいる。特に資本金10億円以上の大企業の内部留保(利益剰余金)は、2000年度から20年度に、88兆円から242兆円へ175%増える一方で、人件費は0.4減、設備投資は5.3%減。この間、法人税減税の埋め合わせのように消費税が2度増税された。大企業優遇税制は12年から10年間で40兆円の「減税効果」を生んだとされる。

設備投資や危機などに備える内部留保は必要である。だが、内部留保が過大になり賃金に回らず、景気が低迷するなか、内部留保課税を求める意見が上がる。これには二重課税だという批判もあるが、日本でも資本金1億円以上の特定同族会社への内部留保課税の制度がある。日本共産党が、資本金10億円以上の大企業に対し、不公平な大企業減税で膨らんだ内部留保額への毎年2%、5年間で合計10%の時限的課税を提案している。

2022
参院選

ストップ 改憲・大軍拡 戦争する国への道進ませない

概ねの地域では田植えが終わった頃だろう。高度経済成長期、農業はさまざまな意味で大きな変化を遂げた。それまで人力や畜力(牛・馬)にたよっていた農作業の機械化も、その変化のひとつだ。▼昭和40年代に開発された田植機は、手作業のときよりも小さな苗を用いるなどの工夫を凝らし、人力に勝る精密な作業を可能にした。縦横の間隔も整然としており、田植後の作業能率も向上する。田植機の導入により、田植えを1日で終えることができるので、稲穂が出揃う穂揃いの時期や収穫時期もいっせいととなり、品質面でも均一で優良な米の栽培につながった。▼農業機械は農作業の軽減や生産性・品質の向上に大きく貢献し、現代の農業に欠かせない存在となっている。近年では個性を感じさせるスタイリッシュなデザインの農業機械も登場している。ヤンマーの現行トラクターをデザインした奥山清行氏はフェラーリを手がけた工業デザイナーであり、新幹線の新型「こまち」も奥山氏のデザインによるものだ。▼また、最近の農業機械はエアコンが効いて快適性が増し、運転や操作も簡単になっており、農業者の仕事を手助けするだけでなく、農業未経験の若い人や女性が新たに農業に親しむきっかけになっている。課題は機能が増えた分、農業機械の価格が上昇しているのに米価が下落していることだ。

(博)



最低賃金の引き上げ、 全国一律の最賃を

5月22日、秋田市で全労連東北・北海道の最賃引上げキャラバンスタート集会(上の写真)が行われ、東北・北海道の県労連や秋田県労連の代表らリモート参加をふくめ約40人が集まりました。また、23日は秋田駅前早朝宣伝、秋田労働局、秋田県庁、中小企業家同友会を訪問し懇談しました。スタート集会には県本部から二人が参加しました。さらに翌日は代表が秋田駅前での宣伝活動、秋田県に引き上げについての申し入れを行いました。

5月27日は、秋田弁護士会の貧困問題対策委員会の皆さん6人と県労連・春闘懇の代表(県労連、中通病院労組、医労連、建交労)5人が最低賃金問題について懇談を行いました。はじめに秋田弁護士会の嵯峨副会長が「16年前、学生時代にアルバイトをしていたが、東京と秋田の最賃の差額が当時も109円あり、不合理を感じていた。いまはさらに拡大し219円もあり、この賃金格差が人口減少につながっていると感じる。弁護士会としても最賃の引き上げ、格差解消にむけて意見発信をしたい」とあいさつしました。

日本弁護士会連合会は今年の4月に「最賃の地域間格差が依然として大きく、...最低賃金の高低と人口の転入出には強い相関関係がある。労働者の生計費は、最近の調査によれば、都市部と地方の間で、ほとんど差がないことが明らかになっている。労働者の最低生計費に地域間格差がほとんど存在しない以上、全国一律最低賃金制度を実現すべきである」(要旨)との声明を出しています。秋田弁護士会も声明を準備中であることが報告されました。その後、双方の意見交換をおこないました。

弁護士会からは「秋田は昨年30円引き上げになったが、それが原因で会社が倒産したなどの事例はあるか」「非正規雇用の方が家計の中心になっている割合は大きい。社会保険の扶養の壁・年収130万円を理由にした低賃金は問題ではないか」「全国一律最賃・1500円の実現への工程表はあるのか」などの質問があり、懇談は予定した時間をオーバーし、今後も引き続き意見交換を行っていくことを確認して終了しました。

秋田県最賃審議会がまもなく始まります。

八面六臂(はちめんろくび)

概ねの地域では田植えが終わった頃だろう。高度経済成長期、農業はさまざまな意味で大きな変化を遂げた。それまで人力や畜力(牛・馬)にたよっていた農作業の機械化も、その変化のひとつだ。▼昭和40年代に開発された田植機は、手作業のときよりも小さな苗を用いるなどの工夫を凝らし、人力に勝る精密な作業を可能にした。縦横の間隔も整然としており、田植後の作業能率も向上する。田植機の導入により、田植えを1日で終えることができるので、稲穂が出揃う穂揃いの時期や収穫時期もいっせいととなり、品質面でも均一で優良な米の栽培につながった。▼農業機械は農作業の軽減や生産性・品質の向上に大きく貢献し、現代の農業に欠かせない存在となっている。近年では個性を感じさせるスタイリッシュなデザインの農業機械も登場している。ヤンマーの現行トラクターをデザインした奥山清行氏はフェラーリを手がけた工業デザイナーであり、新幹線の新型「こまち」も奥山氏のデザインによるものだ。▼また、最近の農業機械はエアコンが効いて快適性が増し、運転や操作も簡単になっており、農業者の仕事を手助けするだけでなく、農業未経験の若い人や女性が新たに農業に親しむきっかけになっている。課題は機能が増えた分、農業機械の価格が上昇しているのに米価が下落していることだ。

2022年参院選の争点 物価高騰が暮らし直撃 消費税5%、最低賃金1500円に

コロナ危機に続き物価高騰が国民と中小企業を直撃。国民の苦境を救うにはどんな経済対策が必要なのか、参院選の重要な争点である。

不十分すぎる対策

岸田内閣が4月26日に決定した「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」は、規模も中身も不十分なうえ、財政民主主義に反して、政府の判断で使える予備費を乱用するもの。

6.2兆円という規模も、うち1.5兆円は予備費の積み増しなので実際は4.7兆円。しかも2兆円は22年度予算に計上しているの、新たに措置したのは2.7兆円。

中身も、中心は4月に期限切れとなる石油元売り業者を対象とした補助金の延長・拡充。生活支援では、低所得の子育て世帯への児童1人5万円の特別給付金が新たに盛り込まれた以外は、ほぼこれまでのコロナ対策の支援措置の延長である。

食品・光熱費高騰

3月の消費者物価の前年比上昇率は、生鮮食品11.6%、電気代21.6%、都市ガス代25.3%、ガソリン19.4%など、食品やエネルギーの値上がり激しく、低所得者ほど打撃が大きい。消費税減税はすべての人に恩恵があり、最も効果的な経済対策だが、政府は検討しようもしない。5%への引き下げを求めたい。

賃金引上げも欠かせない。政府は企業に賃上げを求めるが、非正規労働賃金の底上げにもなる最低賃金の引上げには消極的だ。即座に一律時給1000円、早期に1500円を、中小企業支援とともに実現すべきである。

円安招く金融緩和

原油や穀物の価格はコロナ規制後の経済再開、世界的な需要増で21年から上昇していたが、ロシアのウクライナ侵略が追い打ちをかけた。さらに日銀が大規模な金融緩和政策を続けると表明したため日米の金利差の拡大が続くとの見方から円安が進み、輸入物価が上昇。それでも日銀は「2%の物価安定の目標」に向け金融緩和に固執する。

アベノミクスの異次元金融緩和を始めて9年、円安、株高で富裕層や大企業は利益を得たが、景気は回復せず賃金も上がらず、物価は上昇。日銀の使命は物価安定を図ること。金融緩和は続けるべきではない。

消費税減税



何としても選挙でひきさげよう!



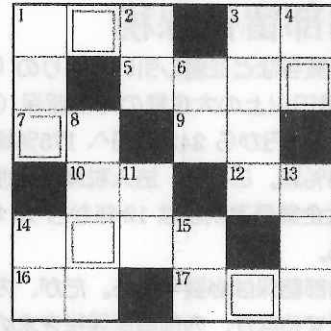
仲間の声

先日ゼンマイ採りに出かけたら、伸びすぎてためだつた。

がっくり。ゼンマイの命拾いをしたという声が聞こえてくるような気がする。かなり採ったからもうよさそうなものだが、私の採取欲は、たるを知らない。ワラビはまだまだ採れるし、次はミス採り。欲望の日々はまた続く。

個人加盟
由利本荘市 笹 耕市 74歳

クロスワードパズル



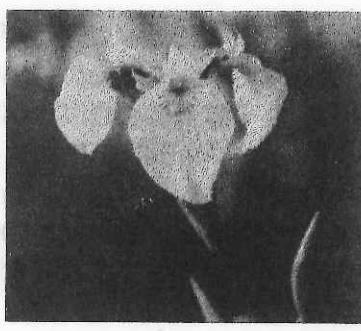
カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何ですか。
【タテのカギ】①——微塵に砕ける ②——あれば苦あり ③白粉。何と読む? ④マル——式クイズ ⑥——の大木 ⑧ひと固まり。——となって動く ⑪雨が降り——をさす ⑬土木と建築 ⑭——のついで ⑮新聞の三面——

【ヨコのカギ】①主に食べるのはユーカリの葉 ③父母の姉妹 ⑤あき部屋 ⑦円周率を示す記号 ⑨こそ——が侵入し家財を盗んだ ⑩土地の価格 ⑫経度の対 ⑭江戸の敵を——で討つ ⑯鉛筆の——を削る ⑰のど——大会

【前回の答え】 柏餅 (カシモチ)

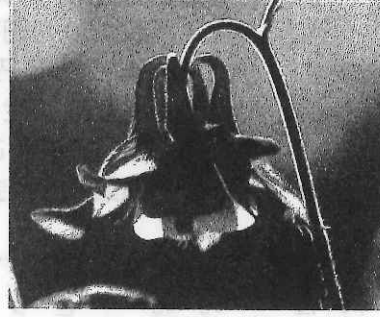
応募者3名、正解者3名でした。
ダンプ支部のゆきちゃん(56歳)に1,000円の図書カードを送ります。答えをハガキかファックス、メールで送ってください。正解者の中から1名の方に1,000円の図書カードを贈ります。その際、住所・氏名・年齢(さしつかえなければ)・支部・分会名を忘れずに書いてください。初めての方の投稿大歓迎です!
応募のしめ切り⇒6月25日の消印まで有効。発表は次号で。
ヒント→〇〇〇ッ〇…梅雨時、かかせません。
余白に意見や組合への要望などを必ず書き添えてください。とく名、ペンネーム可。
仲間の皆さん、ふるって応募を!

《あて先》〒010-0976 秋田市八橋南1丁目2番29号
Fax.018-823-7751
建交労秋田県本部「なかま」クイズ係



屋外でのマスク着用が必要か不要か政府内でも議論され始めた昨今です。少しずつ減ってはいるけど、まだ毎日の感染者数はそれなりの数だし、仕事以外は自粛気味生活だし、外出先でのマスクは慣れたし、ファッショ性の高いマスクも様々だし、夏に向け徐々に息苦しさが増すけど感染予防を怠らず、もう少し辛抱します。

秋田ダンプ支部千秋分会
佐藤正樹 60歳



5月に入り、ゴールデンウィーク。8メートルの雪の壁を見に行こうと鳥海ブルーラインへ。入山するにつれ所々に雪。
「わあー...」雪の壁が現れ感動...も、雪が降ってきて路面はシャリシャリ、夏タイヤのため上まで行くのをなくなく断念。それにしても5月に雪?なんですね。帰りは角館武家屋敷、枝垂れ桜も終わりでしたが、町並みを楽しみました。人力車が素敵でした。お花見に行こうという願いがかなって良かったです。
秋田ダンプ支部
ゆきちゃん 56歳



太るのは米日軍需産業